

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月22日

岩手県知事 達増 拓也 様

提出者
住 所 岩手県花巻市諏訪町二丁目1番地9
氏 名 株式会社サンライズ
代表取締役 佐々木 仁
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0198-29-5711

上記代理人
住 所 岩手県花巻市西宮野目第13地割129番地8
氏 名 行政書士 金矢 健次
電話番号 0198-26-5522

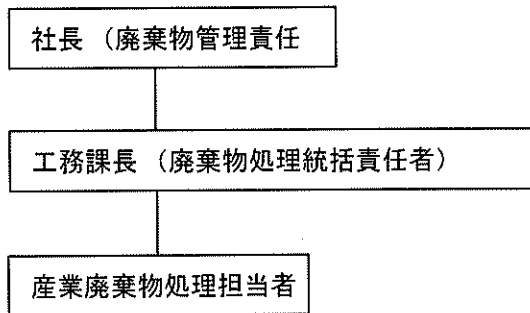
循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社サンライズ 建設工事現場
事業場の所在地	岩手県内一円（盛岡市内を除く）
計画期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業[総合工事業]
② 事業の規模	建設業 元請完成工事高（前年度実績） 55,006千円
③ 従業員数	12名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	① 廃プラスチック類 →運搬委託→委託処分（切断・圧縮→焼却→管理型埋立） ② 木くず →自社運搬→委託処分（破碎→再生） ③ がれき類 →自社運搬→委託処分（破碎→再生） ④ 廃プラスチック類及び金属くず（混合物） →運搬委託→委託処分（切断・圧縮→再生） ⑤ 金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（水銀使用製品産業廃棄物）→運搬委託→委託処分（破碎→分離→再生）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和7年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
①現状	排出量	t		t
	（これまでに実施した取組） 建設現場で使用する材料（数量）を適切に把握し、現場加工から発生した不要となる端材を最小限に抑え、建設廃材の排出を抑制している。			
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t		t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、建設現場で使用する材料（数量）を適切に把握し、現場加工から発生した不要となる端材を最小限に抑え、建設廃材の排出を抑制する。 以上の措置をさらに徹底し、更なる削減に努める。（前年度同様の施工規模が見込まれるものとした場合、約5%の削減に努める。）			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設現場から多量に発生する木くず、がれき類の廃棄物について、混合物が付着しないよう分別を徹底したうえで、再生処理を委託処分している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、分別を徹底し再生処理の委託処分に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t		t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。			
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t		t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t		t
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t		t
③現状	【前年度（令和7年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	自ら中間処理を行った産業廃棄物の量	t		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t		t
④計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	自ら中間処理を行う産業廃棄物の量	t		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t		t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 建設現場から多量に発生する木くず、がれき類の廃棄物について、混合物が付着しないよう分別を徹底したうえで、再生処理を委託処分している。		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全 処 理 委 託 量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、分別を徹底し再生処理の委託処分に努める。	
※事務処理欄		

備考

- 1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所ごとに1枚作成し、循環型地域社会の形成に関する条例施行規則第3条の2の基準に従って作成した産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】

別添		産業廃棄物の種類 ※量の単位は t (トン)							合計(t)
		産業廃棄物の排出 の抑制に関する事 項	排出量	廃プラスチック 類	木くず	がれき類	廃プラスチック 類 金属くず	金属くず、コ ンクリートくず、 及び陶磁器くず	
産業廃棄物の排出 の抑制に関する事 項	現状		2.320	30.250	509.580	0.139	0.001	542.290	
	計画		2.300	29.000	485.000	0.000	0.000	516.300	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関 する事項	現状							0.000	
	計画							0.000	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関 する事項	現状	自ら熱回収を行っ た産業廃棄物の量						0.000	
	計画	自ら中間処理によ り減量した産業廃 棄物の量						0.000	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は 海洋投入処分に関する事項	現状							0.000	
	計画							0.000	
	現状	全処理委託量	2.320	30.250	509.580	0.139	0.001	542.290	
	計画		2.300	29.000	485.000	0.000	0.000	516.300	
	現状	優良認定処理業者 への処理委託量						0.000	
	計画							0.000	
産業廃棄物の処理 の委託に関する事 項	現状	再生利用業者への 処理委託量		30.250	509.580	0.139	0.001	539.970	
	計画			29.000	485.000	0.000	0.000	514.000	
	現状	認定熱回収業者へ の処理委託量						0.000	
	計画							0.000	
	現状	定熱回収業者以外 の熱回収を行う業 者への処理委託量						0.000	
	計画							0.000	

委任状

事務所 〒025-0002
岩手県花巻市西宮野目第 13 地割 129 番地 8
TEL/FAX 0198-26-5522
氏 名 行政書士 金矢健次
登録番号 日本行政書士会連合会／第 07030388 号

私は、上記の者を代理人と定め、下記の権限を委任します。

記

準多量排出事業者による産業廃棄物処理計画書及び実施状況報告書の作成、照会、回答、提出、補正及び訂正、副本及び受理通知受領、その他附帯関連する一切の権限

以上

令和 8 年 6 月 10 日

住 所 岩手県花巻市諏訪町二丁目 1 番地 9
商 号 株式会社サンライズ

代表者職・氏名 代表取締役 佐々木 仁

